

- 伊議会が解散 4
- 真冬の観戦 熱い味方 8
- 「人生案内」座談会 13
- 飫肥「九州の小京都」21
- ◀スキー全日本複合、渡部選V 3 23
- 国際 4
- 経済 7
- 気流 8
- 解説 9
- 環境 11
- 家庭 14 15
- スポーツ 22 23 24 25
- 碁・将棋 28 歌謡・俳諧 33
- 小旅旅 21 小説 14

# 讀賣新聞

2012年(平成24年)

12月24日曜日

振替休日

発行所 読売新聞西部本社 TEL 0810-8581 福岡市中央区赤坂1-16-5 電話(092)715-4311(代) www.yomiuri.co.jp



東病院のスタッフと共に記者会見を見  
し、集団感染の概要を読み上げる春  
光会の宮路理事長(中央)。(23日午後撮影)  
内訳は、入院患者30人、医師1人、看護師6人、介護士7人で、2階に入院、ま  
たは勤務していた。死亡し  
た6人を含む発症患者はい  
ずれも寝たきりで、重症の  
5人は、酸素吸入の治療を

ノロウイルス 1968年、米國の小学校で起きた集団胃腸炎の患者の便から発見された。感染力が強く、48時間の潜伏期間を経て、嘔吐や下痢、腹痛などを引き起こす。汚染された二枚貝の生食のほか、ウイルスが含まれる嘔吐物や便の処理をした人の手指や飛沫などを介して感染する」とが多く、冬場の感染性胃腸炎の主な原因となる。健康な大人ならば症状が軽いが、抵抗力が弱い子どもや高齢者は重症化する恐れもある。ワクチンや特効薬はないといふ。

富崎市は23日、同県田南市南郷町東町の医療法人「春光会」東病院で、入院患者や病院職員ら計44人が嘔吐や下痢などの症状を訴え、うち78歳~88歳の男性患者計6人が死んだ。76歳~90歳の男女の患者計5人が重症と発表した。現在入院中の患者5人からノロウイルスが検出され、同県はノロウイルスによる感染性胃腸炎が原因とみて調べている。同県によると、ノロウイルスが原因とみられる集団感染による死者数としては、全国で今季最多という。(関連記事35面)

## 44人発症 5人重症

発表によると、同病院では14日から22日までに6人が死亡。死因はいずれも吐いた物が誤って気管などに入ったことによる誤嚥性肺炎だった。この間、発症した44人の



理事長は「当初、ノロウイルスとは考えなかった。結果的に対応が後手になってしまった」と陳謝した。同病院は内科、胃腸科、リハビリテーション科があり、ベッド数は64床。医師や看護師を含む病院職員は57人。高齢者の利用が多く、23日現在の入院患者数は54人。

## 78~88歳の患者

# ノロ集団感染か 6人死亡

## ウイルスが変異 感染拡大の一因

この冬、ノロウイルスなどによる感染性胃腸炎は大流行する兆しきみせていく。

都道府県別では、宮崎(36人)に達し、過去10年間に最も多かった2006年に次ぐ水準となつた。

国内では、今月に入り、福岡県竹田市の病院に入院していった男性患者、当時84歳が死亡したほか、京都市左京区の病院でも80歳代と90歳代の男性患者が死亡。広島市でも100人以上が集団中毒にかかるなどしている。

### 感染性胃腸炎の患者数

順位	都道府県	患者数
1	宮崎県	35.94
2	鹿児島県	34.02
3	愛媛県	31.84
4	福井県	29.50
5	富山県	28.07
6	埼玉県	27.80
7	香川県	27.00
8	東京都	26.95
9	熊本県	26.44
10	大分県	26.00
11	山口県	23.50
12	長崎県	17.55
29	福岡県	16.16
31	佐賀県	15.86
47	沖縄県	4.47
平均	全国平均	19.62

(12月3~9日、1医療機関当たりの平均)

理長は「当初、ノロウイルスとは考えなかつた。結果的に対応が後手になつた」と陳謝した。同病院は内科、胃腸科、リハビリテーション科があり、ベッド数は64床。医師や看護師を含む病院職員は57人。高齢者の利用が多く、23日現在の入院患者数は54人。

国立感染症研究所が、全国約3000の小児科病院から報告を受けている定期調査によると、1医療機関あたりの感染性胃腸炎の平均患者数は、今年3~9月の1週間で今季最高の19人に達し、過去10年間に最も多かった2006年に次ぐ水準となつた。

感染研によると、今シンズン流行しているウイルスは、人間の免疫をすり抜けやすい性質に変異してお

いている。

国内では、今月に入り、福岡県竹田市の病院に入院していった男性患者、当時84歳が死亡したほか、京都市左京区の病院でも80歳代と90歳代の男性患者が死亡。広島市でも100人以上が集団中毒にかかるなどしている。

この冬、ノロウイルスなどによる感染性胃腸炎は大流行する兆しきみせていく。

都道府県別では、宮崎(36人)

に達し、過去10年間に

最も多かった2006年に

次ぐ水準となつた。

国内では、今月に入り、

福岡県竹田市の病院に入院して

いた男性患者、当時84歳が

死亡したほか、京都市左

京区の病院でも80歳代と90

歳代の男性患者が死亡。

広島市でも100人以上が

集団中毒にかかるなどして

いる。

この冬、ノロウイルスなどによ

る感染性胃腸炎は大流行する

兆しきみせていく。

都道府県別では、宮崎(36人)

に達し、過去10年間に

最も多かった2006年に

次ぐ水準となつた。

国内では、今月に入り、

福岡県竹田市の病院に入院して

いた男性患者、当時84歳が

死亡したほか、京都市左

京区の病院でも80歳代と90

歳代の男性患者が死亡。

広島市でも100人以上が

集団中毒にかかるなどして

いる。

この冬、ノロウイルスなどによ

る感染性胃腸炎は大流行する

兆しきみせていく。

都道府県別では、宮崎(36人)

に達し、過去10年間に

最も多かった2006年に

次ぐ水準となつた。

国内では、今月に入り、

福岡県竹田市の病院に入院して

いた男性患者、当時84歳が

死亡したほか、京都市左

京区の病院でも80歳代と90

歳代の男性患者が死亡。

広島市でも100人以上が

集団中毒にかかるなどして

いる。

この冬、ノロウイルスなどによ

る感染性胃腸炎は大流行する

兆しきみせていく。

都道府県別では、宮崎(36人)

に達し、過去10年間に

最も多かった2006年に

次ぐ水準となつた。

国内では、今月に入り、

福岡県竹田市の病院に入院して

いた男性患者、当時84歳が

死亡したほか、京都市左

京区の病院でも80歳代と90

歳代の男性患者が死亡。

広島市でも100人以上が

集団中毒にかかるなどして

いる。

この冬、ノロウイルスなどによ

る感染性胃腸炎は大流行する

兆しきみせていく。

都道府県別では、宮崎(36人)

に達し、過去10年間に

最も多かった2006年に

次ぐ水準となつた。

国内では、今月に入り、

福岡県竹田市の病院に入院して

いた男性患者、当時84歳が

死亡したほか、京都市左

京区の病院でも80歳代と90

歳代の男性患者が死亡。

広島市でも100人以上が

集団中毒にかかるなどして

いる。

この冬、ノロウイルスなどによ

る感染性胃腸炎は大流行する

兆しきみせていく。

都道府県別では、宮崎(36人)

に達し、過去10年間に

最も多かった2006年に

次ぐ水準となつた。

国内では、今月に入り、

福岡県竹田市の病院に入院して

いた男性患者、当時84歳が

死亡したほか、京都市左

京区の病院でも80歳代と90

歳代の男性患者が死亡。

広島市でも100人以上が

集団中毒にかかるなどして

いる。

この冬、ノロウイルスなどによ

る感染性胃腸炎は大流行する

兆しきみせていく。

都道府県別では、宮崎(36人)

に達し、過去10年間に

最も多かった2006年に

次ぐ水準となつた。

国内では、今月に入り、

福岡県竹田市の病院に入院して

いた男性患者、当時84歳が

死亡したほか、京都市左

京区の病院でも80歳代と90

歳代の男性患者が死亡。

広島市でも100人以上が

集団中毒にかかるなどして

いる。

この冬、ノロウイルスなどによ

る感染性胃腸炎は大流行する

兆しきみせていく。

都道府県別では、宮崎(36人)

に達し、過去10年間に

最も多かった2006年に

次ぐ水準となつた。

国内では、今月に入り、

福岡県竹田市の病院に入院して

いた男性患者、当時84歳が

死亡したほか、京都市左

京区の病院でも80歳代と90

歳代の男性患者が死亡。

広島市でも100人以上が

集団中毒にかかるなどして

いる。

この冬、ノロウイルスなどによ

る感染性胃腸炎は大流行する

兆しきみせていく。

都道府県別では、宮崎(36人)

に達し、過去10年間に

最も多かった2006年に

次ぐ水準となつた。

国内では、今月に入り、

福岡県竹田市の病院に入院して

いた男性患者、当時84歳が

死亡したほか、京都市左

京区の病院でも80歳代と90

歳代の男性患者が死亡。

広島市でも100人以上が

集団中毒にかかるなどして

いる。

この冬、ノロウイルスなどによ

る感染性胃腸炎は大流行する

兆しきみせていく。

都道府県別では、宮崎(36人)

に達し、過去10年間に

最も多かった2006年に

次ぐ水準となつた。

国内では、今月に入り、

福岡県竹田市の病院に入院して

いた男性患者、当時84歳が

死亡したほか、京都市左

京区の病院でも80歳代と90

歳代の男性患者が死亡。

広島市でも100人以上が

集団中毒にかかるなどして

いる。

この冬、ノロウイルスなどによ

る感染性胃腸炎は大流行する

兆しきみせていく。

都道府県別では、宮崎(36人)

に達し、過去10年間に

最も多かった2006年に

次ぐ水準となつた。

国内では、今月に入り、

福岡県竹田市の病院に入院して

いた男性患者、当時84歳が

死亡したほか、京都市左

京区の病院でも80歳代と90

歳代の男性患者が死亡。

広島市でも100人以上が

集団中毒にかかるなどして

いる。

この冬、ノロウイルスなどによ

■伊議会が解散	4	国際	4	経済	7	
■真冬の観戦 热い味方	8	気流	8	解説	9	
■「人生案内」座談会	13	環境	11	家庭	14 15	
■飫肥「九州の小京都」	21	スポーツ	22 23 24 25			
◀ スキー全日本複合、渡部敏V	3 23	碁・将棋	28	歌麿	28	
		小旅	旅	21	小説	14

発行所 読売新聞西部本社 〒810-8581 福岡市中央区赤坂1-16-5 電話(092)715-4311(代) [www.yomiuri.co.jp](http://www.yomiuri.co.jp)



東病院のスタッフと共に記者会見し、集団感染の概要を読み上げる春光会の宮路理事長(中央)。(23日午後1時5分、宮崎市)=余堀雄樹撮影

ノロウイルス　1960年、米国  
の小学校で起きた集団胃腸炎の患者の便から発見された。感染力が強く、24～48時間の潜伏期間を経て、嘔吐や下痢、腹痛などを引き起す。汚染されただ一枚枚の手紙のほか、ウイルスが含まれる嘔吐物や便の処理をした人の手指や飛まつなどを利用して感染する」とが多く、冬場の感染性胃腸炎の主な原因となる。健康な大人ならば症状が軽いが、抵抗力が弱い子どもや高齢者は重症化する恐れもある。ワクチンや特効薬はないといふ。

44人発症 5人重症

は14日から22日までに6人  
が死んだ。原因はいずれも吐  
いた物が誤って気管などに  
入ったことによる誤嚥性肺  
炎だった。

宮崎県は23日、同県立南市南郷町東町の医療法人春光会「東病院」で、入院患者や病院職員の計44人が嘔吐や下痢などの症状を訴え、うち78～88歳の男性患者計6人が死に、76～90歳の男女の患者計5人が重症と発表した。現在入院中の患者5人からノロウイルスが検出され、同県はノロウイルスによる感染性胃腸炎が原因とみて調べている。同県によると、ノロウイルスが原因とみられる集団感染による死者数としては、全国で今季最多という。(関連記事35面)

理事長は「当初、ノロウイirusとは考えなかつた。結果的に対応が後手になつた」と陳謝した。

同病院は内科、胃腸科、リハビリテーション科があり、ベッド数は64床。医師や看護師を含む病院職員は57人。高齢者の利用が多く、現在の入院患者数は54人。

どによる感染性胃腸炎は、流行する兆しをみて、厚生労働省は重症化やすい子どもや高齢者特に注意を呼びかける。

国立感染症研究所が、国約3000の小児科病院から報告を受けている定調査によると、1医療機当たりの感染性胃腸炎の

都道府県別では、宮崎(94人)が最多で、鹿児島(34人)、愛媛(31人)などと並んでいます。富山(28人)などと並んでいます。感染研によると、今シンズン流行しているウイルスは、人間の免疫をすり抜けて、やさしい性質に変異しており、感染が広がる一因に

島 続 、・ 35  
分県竹田市市の病院に入院していった男性患者、当時84歳で死亡したほか、京都市東区の病院でも80歳代と85歳代の男性患者が死んだ。島市でも1000人以上の集団中毒にかかるなどた。  
今のところ西日本での進行が目立っているが、金子に拡大しつつある。

# 宮崎の病院 78 ～ 88歳の患者

ウイルスが変異  
感染拡大の一因

△ 感染性胃腸炎の患者数		
順位	都道府県	患者数
1	宮崎県	35.94
2	鹿児島県	34.02
3	愛媛県	31.84
4	福井県	29.50
5	富山県	28.07
6	埼玉県	27.80
7	香川県	27.00
8	東京都	26.95
9	熊本県	26.44
10	大分県	26.00
15	山口県	23.50
24	長崎県	17.55
29	福岡県	16.16
31	佐賀県	15.86
47	沖縄県	4.47
全国平均		19.62

### (関当たりの平均)

探せ！  
ポケモン

新聞も、スマホも。  
読書アプリ

ニュースや  
特典が満載  
[QRコード](#)